

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具及び備品……定額法によっている。

ソフトウェア……定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

ただし、検診車の取得価額については税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	4,117,777	624,047		4,741,824
検診車買換積立預金	59,300,000	15,000,000		74,300,000
検診車買換引当預金	0			0
小 計	63,417,777	15,624,047	0	79,041,824
合 計	93,417,777	15,624,047	0	109,041,824

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	(30,000,000)	—	—
小 計	30,000,000	(30,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	4,741,824	—	(4,741,824)	(4,739,310)
検診車買換積当預金	74,300,000	(74,300,000)	—	—
小 計	79,041,824	(74,300,000)	(4,741,824)	(4,739,310)
合 計	109,041,824	(104,300,000)	(4,741,824)	(4,739,310)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	152,424,030	131,777,606	20,646,424
備品	4,620,600	4,620,592	8
合 計	157,044,630	136,398,198	20,646,432